

## 米国・カナダ編

【1】 米国：プラスチック規制動向 — 再生材利用促進の動きが活発に全 16 ページ サンプルのためリンクは消してあります。

法律/政策の名称	プラスチック・イノベーション戦略 (SPI)
現地語名称	<a href="#">Strategy for Plastics Innovation</a>
公布/施行日等	2023 年 1 月公表
カバー期間	2023 年 6 月～2024 年 5 月

このテーマの基礎知識  
を簡潔に説明

### バックグラウンド情報

2024 年 5 月現在、米国には国レベルでプラスチックを包括的に規制する法規制は存在しない。2018 年に中国が「国門利剣 (ナショナルソード)」を実施し、プラスチック廃棄物の輸入を制限したことをきっかけとして、国内でリサイクルを行う必要が生じた。そこで、2021 年より、プラスチックのリサイクルや汚染防止のための政策・戦略が打ち出されることとなった。

その一つがプラスチック・イノベーション戦略である。米国エネルギー省 (DOE) が発表した、プラスチック廃棄物削減に関する DOE の共同研究開発 (R&D) の指針である。プラスチック廃棄物削減に関する 4 つの戦略的目標を提示し、DOE が既存のインフラを活用して当該目標を達成するための道筋を概説している。プラスチック廃棄物を削減し、プラスチックの生産および再利用がエネルギーに与える影響を低減する、革新的な科学技術ソリューションを提供することが目的である。

4 つの戦略的目標および各目標に対する主要な行動は下表の通りである。

戦略的目標	目標に対する主要な行動
ディコンストラクション (Deconstruction)	プラスチックを効率的に分解し有用な化学中間体を得るための以下の開発を行う。
アップサイクル (Upcycling)	サンプルのため省略
リサイクル可能な設計 (Recyclable by Design)	
規模の拡大および普及 (Scale and Deploy)	

## 最近の主な動向

### ■再生プラスチックの利用促進

現在、米国において、リサイクルされている「プラスチック廃棄物」は全体の 10%未満である。プラスチック廃棄物の収集および管理システムは州または地域ごとに組織化されているが、公共部門と民間部門の活動は連携していない。また、プラスチック廃棄物の回収と処理、および再生プラスチックの利用に関する研究開発は、資金や活動のレベルが低く、数十年にわたって研究されているが進展していない。この状況を鑑み、米国議会が出した、インフラにおいてより多くの再生プラスチックを使用するための障壁および機会を評価するための調査実施の指示を受け、EPA と DOT は、全米科学・工学・医学アカデミーズ (NASEM) に、再生プラスチック材料を使用したインフラプロジェクトの国内外の事例を調査するよう依頼した。

サンプルのため省略

### 高度なりサイクル

#### ■推進する法律が各州で順調に成立する一方、メイン州は逆行

「高度なりサイクル (Advanced Recycling)」は、従来のメカニカルリサイクルでは受け入れられなかった多層包装のような包装材をはじめとした廃プラスチックを分解し、新しい製品の原料として使用できる材料に化学的にリサイクルする技術方法である。米国では、2024 年 3 月時点で、図で赤く示した 25 州が高度なりサイクル法を制定している。

ほとんどの州法は・・・

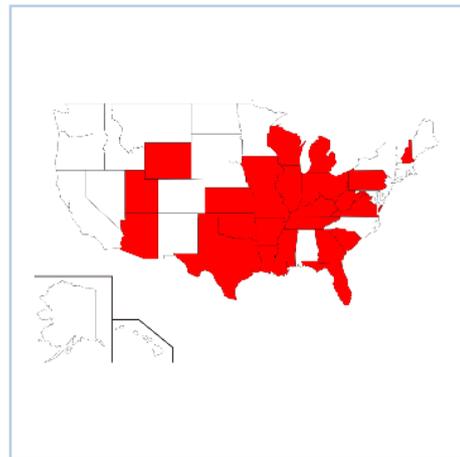
サンプルのため省略

### ■NPE2024 が開催

2024 年 5 月 6 日から 5 月 10 日にかけて、米国プラスチック工業会 (PLASTICS) 主催の米国最大のプラスチック展示会である「NPE 2024 - The Plastics Show」が、米国フロリダ州オーランドのオレンジ・カウンティ・コンベンション・センターにおいて開催された。プラスチック業界の実状を把握するべく、エンヴィックス研究員は現地に向かい見学した。展示は大別すると、・・・

サンプルのため省略

図などを使用して分かりやすく



現地で得た情報を  
写真付きで報告

企業名	企業概要	展示内容
<b>KrausMaffei</b>	プラスチックおよびゴムを製造するための機会およびシステムの世界的なリーディングカンパニー	顧客の環境に関する取り組みを紹介。  サンプルのため省略
<b>LyondellBasell</b>	化学品・ポリマー・プラスチックの製造を行う、プラスチック業界および化学品業界のパイオニア。	循環性、移動と輸送、食と医療、消費財／ライフスタイル、インフラ／建築・建設の分野に関する展示・・・  
⋮	⋮	⋮

## ■プラスチック汚染からの脱却

2023年の最後、米国ではプラスチック汚染からの脱却を目的とした2つの法案が提出された。

サンプルのため省略

## ■耐久性プラスチック

サンプルのため省略

## 今後の展開とスケジュール

### ■新たなリサイクル技術に関して米国内で対立

本稿で紹介した「高度なリサイクル」に対する・・・

サンプルのため省略

### ■NPE2027

サンプルのため省略

### ■連邦レベルのプラスチック規制制定なるか

サンプルのため省略

その目で見えてきたから  
書ける展望と見解

## EnviX 展望と見解

下記、その他関連動向にも記載するが、現在、国際的に法的拘束力のあるプラスチック規制の枠組みを制定しようとする動きがある。その国際的な枠組みを定めた文書（国際文書）の策定に向けた会議において米国は、・・・

サンプルのため省略

## その他関連動向

### ■プラ汚染に関する法的拘束力のある国際文書策定に向けた動き

2024年4月23日から4月29日にかけて、カナダのオタワにおいて、海洋環境を含むプラスチック汚染に関する法的拘束力のある国際文書（以下、国際文書）の策定に向けた第4回政府間交渉委員会（Intergovernmental Negotiating Committee、以下、INC-4）が開催された。

サンプルのため省略

【2024.05.31 SO】